



## 探訪 長門のい（おみ）⑤1

### 俵山の道しるべ



▲福王寺橋の道標

◀湯町野田の道標

このごろ、目にするのが少なくなった「道しるべ」（道標）であるが、俵山地区にはいまでも江戸時代のもものが3基、大正一昭和初期のもものが5基残っている。

江戸時代のもものは、当初の位置から多少移動していると思われるが、現在、つぎの3基が路傍に立っている。

(1) 木津・福王寺橋東袂の道しるべ

弘化2年（1845）4月の建立。野面石に「右 湯町くるそん道／左 西市下の関道」とある。昔は木津川の対岸（西岸）を通っていた旧道（赤間関街道北道筋）の分岐点にあったという。「くるそん」は、豊浦の狗留孫山（古刹、修禪寺）。

(2) 湯町野田・庚申塚そばの道しるべ



銘文から、安永9年（1780）正月に創設し、弘化2年（1845）に下安田村中で改修したことがわかる。標石の正面に「右 先大津道」、左側に「左くるそんみち」と刻まれている。

(3) 下安田下ヶ原・三差路の道しるべ

弘化2年正月、下安田村中の建立。野面石に「右 あんだ古市きわど道／左 七重かわらみち」の刻みがある。

大正一昭和初期の5基は、篤志家河野善蔵（上安田坂根）が、坂根・長敷付近に独力で設置したもので、いまま山路に立ち続けている（位置図参照）。



上安田の道標  
(河野善蔵建立)

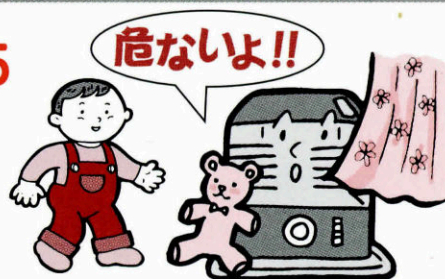
(寄稿・長門市郷土文化研究会)

## こちら 119

### 秋季全国火災予防運動 11/9～11/15

これから冬に向け暖房器具を使用する機会が増えることと思います。長門地区管内でも毎年のように暖房器具が原因で火災が発生しています。ストーブなどを使用する場合は次のことを必ず守りましょう。

- カーテンなど燃え移りやすいものの付近で使用しない。
- ストーブの上や温風ヒーターの付近に洗濯物を干さない。
- コタツの中に洗濯物を入れない。
- 暖房器具の付近で子供を遊ばせない。
- 灯油を入れる時は、一旦火を消してから入れる。
- 火をつけたまま外出、就寝しない。



長門地区消防本部・中央消防署 22-0119  
火災時の問い合わせ 22-1414